

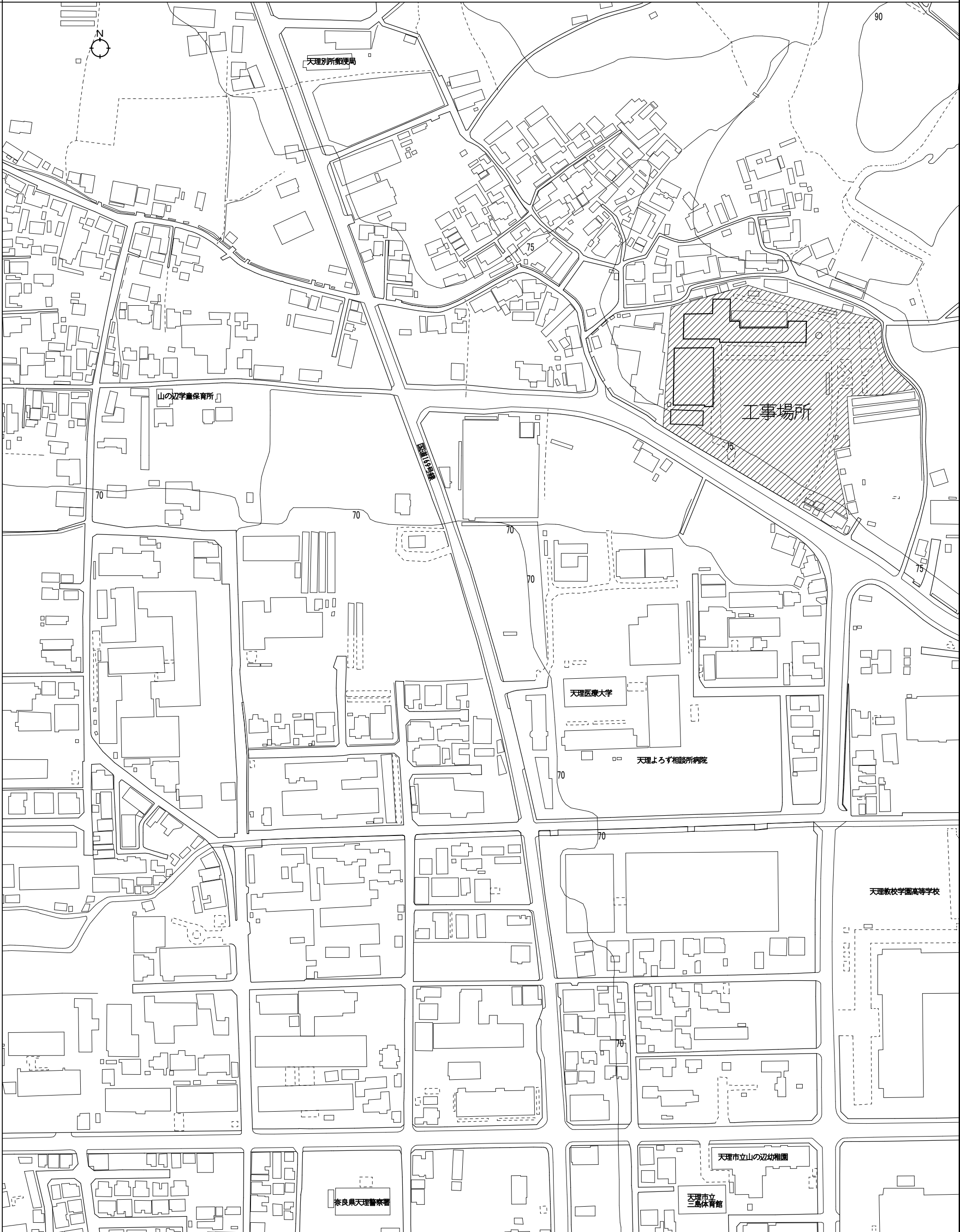
天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校  
空調設備新設工事

株式会社 京成設計

## 図面リスト

[illegible]

付近見取図 1:2500

[illegible]

天理市立丹波市小学校・前裁小学校・山の辺小学校空調設備新設工事

I．工事概要

1．

工事場所

天理市立　山の辺小学校　奈良県天理市別所町380番地

2．

建物概要

RC造　3階

3．

工事項目

建築付帯工事　　　1式  
電気設備工事　　　1式  
機械設備工事　　　1式

4．

注意事項

※　本工事は小学校を運営しながらの工事のため、児童・教職員・その他学校関係者への安全を最優先すること。  
  
※　本工事は、小学校を運営しながらの工事のため、騒音・振動を伴う作業については、休み時間及び放課後等を利用し、授業及び学校行事等に支障の出ないよう最大限の配慮を行うこと。  
  
※　本工事に際しては、騒音、振動に留意し、道路通行者の安全確保を行うこと。  
  
※　日曜日・祝日の工事施工も考慮しておくこと。その際はトラブルがないように事前に市監督員と打合せを行い、協議を経た上で、大きな音の出る工事施工は行なわないこと。  
  
※　学校敷地内において車両は最徐行とすること。

II．建築改修工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。  
○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。  
(3)特記事項に記載の〔 〕内表示符号は、改修標準工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。（ ）内表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
また、< >内表示番号は、標準仕様書　各部配参考図の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項

目

①

適 用 基 準 等

②

工事実績情報の登録

③

発生材の処理等

4

電気保安技術者

⑤

施 工 条 件

⑥

建 築 材 料 等

7

特別な材料の工法

8

施 工 調 査

○建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成22年度版)  
○建築改修工事監理指針上・下　国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成28年度版)  
○建築工事監理指針下・下　国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成28年度版)  
○建築物解体工事共通仕様書　国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修(平成24年度版)  
○県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携　奈良県県土マネジメント部  
○建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集　奈良県県土マネジメント部

※適用する

○県内処分場にて処理する。(安定5品目)　半径( ) km以内  
(安定5品目：がれき類、不燃物及び陶磁器等、廃プラスチック類、金属くず類、ゴムくず)  
・引渡しを要するもの( )  
・特別管理産業廃棄物( )  
処理方法( )  
・現場において再利用を図るもの( )  
  
○再生資源化を図るもの(県内処理)  
○コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材  
・再生資源化を図るもの  
・金属類　・硬質塩化ビニル管類　・蛍光灯ランプ類　・小型二次電池  
◎再生資源利用【促進】計画(実施)書を出す。  
(建設副産物対策近畿地方連絡協議会)

◎産業廃棄物の処理  
関係法令に従い構外排出適切処理とし、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提出する。  
なお、県内の最終処分場に搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税相当額を支払うこと。  
  
また、「[廃棄物処理及び清掃に関する法律]」等の規定に基づき適正に処理し、市監督員の指示する報告書・マニフェスト（D、E票の写し）等を提出するとともに関係法令等を遵守すること。

※ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の規格に適合するものを使用する。  
※VOC発生量の少ないものを使用する。  
※アセトアルデヒド及びステレンが発散しないか、発散が少ないものを使用する。  
※トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものを使用する。

②

仮設工事

9

技 能 士

10

化学物質の濃度測定

11

完成時の提出図書

12

完 成 図

13

工事写真・完成写真

14

設備工事との取合い

15

設計 G L

16

環境への配慮

内部足場

※きつたつ、足場板等　・枠組脚足場　※移動式足場

外部足場

種類　※A種　・B種　・C種　・D種　・E種

※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省　平成21年4月）の「手すり先行工法等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

防護シートによる養生　○養生シート（防炎1類）　・防音シート

材料、撤去材等の運搬方法

A種　○B種　・C種　○D種　・E種

養生方法

※ビニルシート等による　○ベニヤ板等による床養生

②

既存部分の養生

技能検定の職種

作業の種類

防水改修工事（・防水施工　・左官　・塗装板金）

・全て　・

外壁改修工事（・左官　・タタ張り　・塗装

・樹脂接着剤注入施工）

・全て　・

建具改修工事（・サッシ施工　・ガラス施工）

・全て　・

内装改修工事（・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)

・全て　・

・表装　・左官　・建築大工

・内装仕上げ施工（鋼製地下地）

・タイル張り

塗装改修工事（・塗装

・全て　・

耐震改修工事（・鉄筋　・型枠　・とび

・全て　・

※室内空气中の化学物質については、「学校環境衛生の基準」に基づく濃度以下にすること。

環境測定の判定指標値は次による。（室温25℃に換算すること。）  
ホルムアルデヒド：0.08 ppm　エチルベンゼン：0.88 ppm  
トルエン：0.07 ppm　キシレン：0.20 ppm  
ステレン：0.05 ppm　パラジクロロベンゼン：0.04 ppm  
※施工完了時に室内空气中の濃度測定を行い報告する。  
・着工前及び施工完了時に室内空气中の濃度測定を行い報告する。

測定対象室

測定箇所数

④

監督職員事務所の

備品等

○完成図（施工图、施工計画書を除く）

○完成図CADデータ（CD-R等）

○施工图、施工計画書

○安全に関する資料（提出部数　1部　・　部）

○工事写真、各種承諾図、保証書等

完成図の作成方法、原図のサイズ  
※請負者に於いて設計図に基づき全ての図面を完成図として作成（設計図第2原因訂正可）し、縮張製本図面　2部提出する。  
※完成図は、原則として黒炭紙金文字製本とし、表紙の書き方は現場監督員の指示とする。  
・改修標準仕様書表1.8.1による

※工事写真　奈良県県土マネジメント部監修　工事写真の撮影マニュアルによる。

区分　分稱・規格　撮影枚数　部数　原紙の大きさ(mm)  
※着工前　○作業基準による　○作成基準による　◎24×36以上  
※工事中　同上　同上　同上  
※完成時　○カラーサーベイス利　・0　・6　・9　同上  
○カラキヤビネ利　監督員指示による　・100×125以上  
・カラスライド　・0　・10　・20　・24×36以上  
・カラバナル半切　・0　・1　・2　・100×125以上  
・モノカルキヤビネ利　・1　同上  
(ただし、上記写真は、アルバム製本とする。)  
・完成写真として、全紙パネルを　部提出する。  
・完成写真撮影業者（完成写真撮影場所は監督員の指示による）  
○監督員の承諾する撮影業者。  
施工範囲  
・図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強  
○図示した壁、天井仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強  
・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ  
・自動開閉装置取付の箇所の切り込み及び補強  
  
施工箇所  
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。  
  
○図示　・  
  
ホルムアルデヒドの放散量が「規制対象外」に該当する材料とは以下のものとする。  
1) JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品  
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  
3) 下記表示のあるJAS規格品  
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤兼使用  
b. 接着剤等不使用  
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用  
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  
  
ホルムアルデヒドの放散量が「第三種」に該当する材料とは以下のものとする。  
1) JIS及びJASのF☆☆☆規格品  
2) 建築基準法施行第20条の7第3項による国土交通大臣認定品  
3) 旧JISのEo規格品  
4) 旧JASのFco規格品  
アスベスト含有建材  
本工事に使用する材料については、標準仕様書1.3.11(B)に準じて、JIS Z 7253による安全データシート(SDS)等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

⑤

工事用水

⑥

工事用電力

③

防水改修工事

①

降雨等に対する養生方法（とい共）

2

改修用ドレン

3

脱気装置

4

アスファルト防水

既存ブランド、カーテン等の養生方法及び保管場所等

○　カーテンについては現場保管養生

固定された備品、机、机などの移動

・行う（図示）

既存部分における既存家具等の養生

※ビニルシート等による　・

仮設間仕切り種の別

種別

材質

片面への塗装

C種　シート張り

B種　合板張り（厚さ　※9.0　・　）

A種　せつこうボード張り（厚さ　※9.5　・　）

仮設扉の種別

※木製扉、合板張り程度　・

・設ける

位置　・既存建物内の一部を使用する

・構内に新設する

規模　・10㎡程度　・20㎡程度　・30㎡程度　・　㎡程度

仕上の程度

部　位

仕　様

床　・合板張り又はビニル床シート張り　・

内壁・天井　・合板張り又は石膏ボード張り＋塗装　・

屋　根　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板張り又は鉄板張り＋塗装

備品の種類

机、椅子

書　棚

黒　板

掛　時計

温　度　計

数　量

組　台

個

個

個

備品の種類

ゴム長靴

雨がっぱ

保　護　帽

安　全　帯

懐中電灯

数　量

足　着

個

個

個

備品の種類

加入電話機

衣類のか

冷暖房機器

消　火　器

湯　沸



4

外壁改修工事

4

塗り仕上げ

新規仕上げ塗材

種類、仕上げの形状、工法

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料	備考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	〇-テ	・適用	
		・さざ波状	吹付け	・適用	
		・砂壁状	吹付け	・適用	
・可とう形外装薄塗材 S i	・外装薄塗材 E	・ゆず肌状	〇-テ	・適用	
		・さざ波状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 E	・外装薄塗材 E	・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・さざ波状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C	・外装薄塗材 C	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 E	・外装薄塗材 E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 C R	・外装薄塗材 C R	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R S	・外装薄塗材 R S	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて	・適用	
		・凹凸状	〇-テ	・適用	
・可とう形外装薄塗材 R E	・外装薄塗材 R E	・砂壁状	吹付け	・適用	
		・ゆず肌状	吹付け	・適用	
		・平たん状	こて		



⑥

内装改修工事

項目

特記事項

・化粧板1構造用集成材 ※「集成材の日本農林規格」・「集成材の日本農林規格」以外）  
適用範囲  
心材の樹種名 ※針葉樹の単一樹種  
化粧薄板  
樹種名  
厚さ  
寸法  
・造作用単板積層材 ※「集成材の日本農林規格」・「集成材の日本農林規格」以外）  
適用範囲  
表面の品質  
防虫処理  
厚さ  
接着の程度及び表面の品質  
板の厚さ（mm）  
表面の樹種名  
接着の程度  
等級  
板面の品質  
広葉樹  
針葉樹  
防虫処理等  
防虫処理  
防虫処理  
木材保存材の種類及び品質  
防蟻処理  
・行う（適用範囲）  
野縁等の種類  
屋外 ・19型 ※25型  
屋内 ※19型 ・25型  
屋外の野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔  
・図示（図面番号） ・900以下  
屋外の野縁の間隔  
・図示（図面番号） ・300以下  
あと施工アンカーの引抜き試験（内部） ・行う  
あと施工アンカーの引抜き試験（外部） ・行う（方法 ※図示）  
スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6.7.1による  
スタッドの高さが5mを超える場合  
・図示（図面番号）  
種類の記号  
※FS  
・  
種 類  
厚さ（mm）  
品 質・規格  
・  
種 類  
性 能  
厚さ（mm）  
・帯電防止シート  
・帯電防止床  
・防汚性床シート  
種 類  
形 状  
材 種  
高さ（mm）  
厚さ（mm）  
・軟質 ・硬質 ※60 ・  
種 類  
厚さ（mm）  
織じゅうたん  
種類  
織り方  
パイル形状  
帯電性  
品質の程度  
（品質の程度は参考商品である）  
タフデットカーペット  
パイル形状  
パイル高さ（mm）  
帯電性  
工 法  
品質の程度  
・カットパイル  
・7  
・適用する  
※全面接着工法  
・グリッパ－工法  
○ BOF N100  
・ループパイル  
・カット、ループ併用  
（品質の程度は参考商品である）  
グリッパ－工法に使用する下地敷き材  
品 質  
厚さ（mm）  
※JIS L 3204の2種2号  
取付用付属品  
見 切 り（材質＜ 種類＜ 形状＜  
押さえ金物（材質＜ 種類＜ 形状＜  
コードルバンチカーペット  
厚さ（mm）  
帯電性  
品質の程度  
・適用する  
タイルカーペット  
種類  
パイル形状  
寸法（mm）  
総厚さ（mm）  
品質の程度  
※第一種  
・カットパイル  
※500×500  
※6.5  
※防災品  
・第二種  
※ループパイル  
※静電気防止品  
※リブ加工品  
（品質の程度は参考商品である）  
タイルカーペットの敷き方  
平 場  
階段部分  
※市松模様 ※模様流し  
仕上りの種類  
※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ

6 床張り用合板  
7 軽量鉄骨天井下地  
8 軽量鉄骨壁下地  
9 ビニル床シート  
10 ビニル床タイル  
11 帯電防止シート、床タイル、防汚性床シート  
12 視覚障害者用床タイル  
13 ビニル幅木  
14 ゴム床タイル  
15 カーペット敷き

16 弾性ウレタン塗り床

仕上りの種類  
・薄膜流し仕上げ  
・厚膜流し仕上げ  
・樹脂モルタル仕上げ  
フロアリングの種類  
単層フロアリング  
・フロアリングボード  
・フロアリングブロック  
・モザイクタイル  
複合フロアリング  
・複層フロアリング  
・複層2種フロアリング  
・複層3種フロアリング  
工法  
・モルタル埋込み工法  
・釘留め工法（・根太張り工法 ・直張り工法）  
接着工法の場合のフロアリング裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート  
種類  
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-R ・KT-N）  
せっこうボード、その他のボード及び合板張り  
名称  
種 類  
厚さ（mm）  
・せっこうボード（GB-R）  
・シーリングせっこうボード（GB-S）  
・強化せっこうボード（GB-F）  
・化粧せっこうボード（GB-D）  
・せっこうラスボード（GB-L）  
・不燃積層せっこうボード（GB-HC）  
吸音材  
・ロックウール吸音フェルト（RW-F）  
・ロックウール吸音ボード（RW-B）  
・ロックウール吸音ブランケット（RW-BL）  
グラスウール吸音フェルト（GW-F）  
グラスウール吸音ボード（GW-B）  
・ロックウール化粧吸音板（DR）  
・吸音用インシュレーションファイバーボード（IB）  
・吸音用羊毛セメント板（MMC）  
・吸音用あなきせっこうボード（GB-P）  
・吸音用あなきハードファイバーボード（HB-P）  
・素地バーティクルボード研磨板（RS）  
・単板張りバーティクルボード研磨板（VS）  
・化粧バーティクルボード単板オーバーレイ（DV）  
・プラスチックオーバーレイ（DO）  
・塗装（DC）  
繊維強化  
・0.8けい酸カルシウム板（0.8FK）  
セメント板  
・1.0けい酸カルシウム板（1.0FK）  
木毛  
・硬質木毛セメント板（HM）  
セメント板・普通木毛セメント板（NM）  
木片  
・硬質木片セメント板（HF）  
セメント板・普通木片セメント板（NF）  
種 類  
・素板  
・天井仕上げ材  
・内装仕上げ材  
・押入収納内装材  
・タタミボード  
・シーリングボード  
・火山性ガラス質複層板（VSボード）  
・その他 フレキシブルボード  
名称  
種類  
表板の樹種名  
板面の品質  
処理  
厚さ（mm）  
・普通合板  
・7mm程度  
・しな程度  
・  
・防虫  
・難燃  
・4  
・5.5  
種類  
化粧板の樹種名  
処理  
厚さ（mm）  
・天然木  
・なら  
・防虫  
・難燃  
・4  
種類  
化粧加工の方法  
表面性能  
処理  
厚さ（mm）  
・特殊加工  
化粧合板  
・オフレイ  
・プリント  
・塗装  
・防虫  
・難燃  
・  
・  
遮音シール材  
・7mm系シリング材  
・10mm系シリング材  
・ジョイントパッド  
下地  
・軽量鉄骨下地  
・木造下地  
・  
合板類の張付け  
種類  
・A種 ※B種  
せっこうボードの目地工法の種類  
・目透し工法  
・突付け工法  
・継目処理工法  
施工箇所  
品質の程度  
防火性能の等級  
・1級 ・2級  
・  
・1級 ・2級  
・  
品質の程度は、参考商品名である。  
下地調整  
モルタル、プasterー面  
・A種 ※B種 ・C種  
コンクリート面  
・A種 ※B種 ・C種  
せっこうボード面  
・A種 ※B種 ・C種  
既設目地材  
・適用する（形状）  
床の目地  
・設ける  
目地工法 ※押し目地（室内は縦横1.8mm程度、廊下は3.6mm程度の割付け間隔とする）  
タイルの種類  
施工箇所  
形状・寸法（mm）  
用途  
上 乗 役 色  
地 盤 あり 地 盤 あり 地 盤 あり 地 盤 あり  
品質の程度

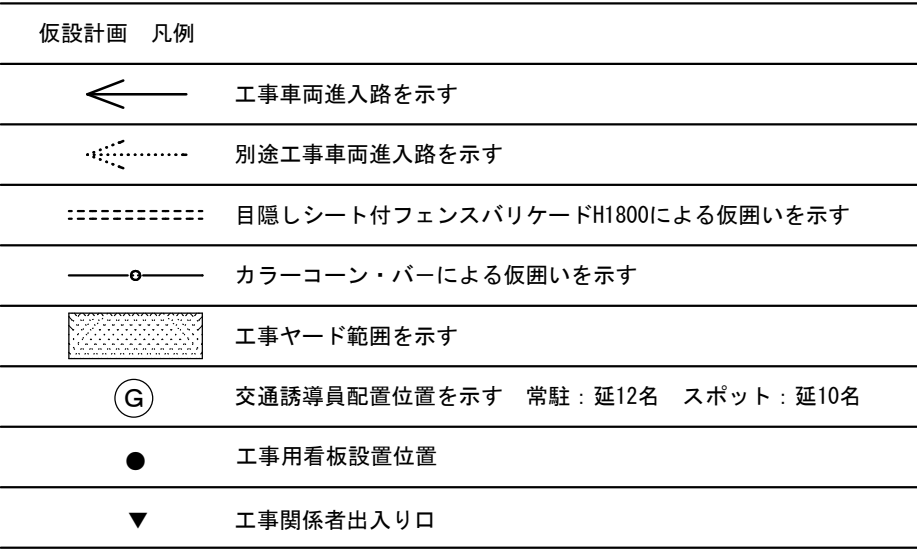
17 エポキシ樹脂塗り床  
18 フローリング張り  
19 畳敷き  
20 セッコウボード、その他のボード及び合板張り  
21 壁紙張り  
22 モルタル塗り  
23 タイル張り

品質の程度は、参考商品名である。  
試験張り ・行う  
見本張り ・行う  
壁タイル張りの工法  
工法  
・改良型上げ張り  
・壁タイル接着剤張り  
品質  
・せっこう系  
・セメント系  
塗厚（mm）  
・  
改修後の床の清掃範囲  
※床、壁、天井範囲とし、詳細は監督職員との協議による。  
接着材に含まれる可塑剤は難燃性のものとする  
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤  
の677μt/dの放散料  
※規制対象外 ・第三種  
工法  
・現場発泡工法  
品質  
・ノンフロンウレタン系  
表面仕上  
・吹き出し  
・コテ押え  
塗厚（mm）  
・20 ・30 ・40  
24 セルフレバリング材  
25 清掃  
26 接着剤  
27 断熱材  
1 防火材料  
2 下地調整  
3 錆止め塗料塗り  
4 合成樹脂調合ペイント（SOP）  
5 珪酸カルシウム（CL）  
6 珪酸カルシウム系非水分散形塗料塗り（MD）  
7 耐候性塗料塗り（OP）  
8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）  
9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）  
10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）  
11 珪酸カルシウム塗り（LC）  
12 ムラカシ塗り（LE）  
13 木材保護塗料塗り

5 珪酸カルシウム（CL）  
6 珪酸カルシウム系非水分散形塗料塗り（MD）  
7 耐候性塗料塗り（OP）  
8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）  
9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）  
10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）  
11 珪酸カルシウム塗り（LC）  
12 ムラカシ塗り（LE）  
13 木材保護塗料塗り

8  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦

⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬  
⑭  
⑮  
⑯  
⑰  
⑱  
⑲  
⑳  
㉑  
㉒  
㉓  
㉔  
㉕  
㉖  
㉗  
㉘  
㉙  
㉚  
㉛  
㉜  
㉝  
㉞  
㉟  
㊱  
㊲  
㊳  
㊴  
㊵  
㊶  
㊷  
㊸  
㊹  
㊺  
㊻  
㊼  
㊽  
㊾  
㊿  
㏀  
㏁  
㏂  
㏃  
㏄  
㏅  
㏆  
㏇  
㏈  
㏉  
㏊  
㏋  
㏌  
㏍  
㏎  
㏏  
㏐  
㏑  
㏒  
㏓  
㏔  
㏕  
㏖  
㏗  
㏘  
㏙  
㏚  
㏛  
㏜  
㏝  
㏞  
㏟  
㏠  
㏡  
㏢  
㏣  
㏤  
㏥  
㏦  
㏧  
㏨  
㏩  
㏪  
㏫  
㏬  
㏭  
㏮  
㏯  
㏰  
㏱  
㏲  
㏳  
㏴  
㏵  
㏶  
㏷  
㏸  
㏹  
㏺  
㏻  
㏼  
㏽  
㏾  
㏿  
㐀  
㐁  
㐂  
㐃  
㐄  
㐅  
㐆  
㐇  
㐈  
㐉  
㐊  
㐋  
㐌  
㐍  
㐎  
㐏  
㐐  
㐑  
㐒  
㐓  
㐔  
㐕  
㐖  
㐗  
㐘  
㐙  
㐚  
㐛  
㐜  
㐝  
㐞  
㐟  
㐠  
㐡  
㐢  
㐣  
㐤  
㐥  
㐦  
㐧  
㐨  
㐩  
㐪  
㐫  
㐬  
㐭  
㐮  
㐯  
㐰  
㐱  
㐲  
㐳  
㐴  
㐵  
㐶  
㐷  
㐸  
㐹  
㐺  
㐻  
㐼  
㐽  
㐾  
㐿  
㑀  
㑁  
㑂  
㑃  
㑄  
㑅  
㑆  
㑇  
㑈  
㑉  
㑊  
㑋  
㑌  
㑍  
㑎  
㑏  
㑐  
㑑  
㑒  
㑓  
㑔  
㑕  
㑖  
㑗  
㑘  
㑙  
㑚  
㑛  
㑜  
㑝  
㑞  
㑟  
㑠  
㑡  
㑢  
㑣  
㑤  
㑥  
㑦  
㑧  
㑨  
㑩  
㑪



※仮囲い、交通誘導員、現場事務所、資材置き場等の設置位置については、原則工事ヤード内に設ける事とし、範囲等については市監督員、学校と打合せ協議を行い、その指示に従うこと。

※工事ヤードについては、原則図示範囲内に於いて最小限とし、そのエリアをカラーコーン等にて区画すること。なお、資材置場については、フェンスバリエードにて囲いをする事。

※工事車両進入時間帯は、生徒の登下校時間と重ならないようにすること。

又、その際の安全対策について事前に市監督員、学校と協議を行い安全対策に万全を期すること。

※工事車両の学校敷地内通行は、交通誘導員の先導のもとと最終行運転とする。

※工事車両通行箇所については、現状調査の上記録を残し、養生等を行い、既設施設損傷のないよう施工すること。

万一、損傷、汚損等が生じた場合については、請負業者の負担にて現状復旧すること。

その際の安全対策について事前に市監督員、学校と協議を行い安全対策に万全を期すること。

※敷地内の工事影響範囲内の土部分は、竣工時に整地を行い、現状復旧とすること。

※フェンスバリエードによる仮囲い範囲外で工事や搬入を行う場合、カラーコーン等で区切り、安全対策を行うこと。（屋外・屋内共）

※7/23・7/27 児童がプールを使用するため安全対策に万全を期すること。（南西門よりプールへ）

※7/30・7/31・8/1・8/2 児童がプールに通うため安全対策に万全を期すること。

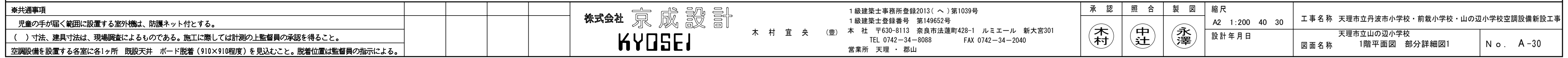
（南西門よりエアコンのある居室で着替え、プールへ）

※8/19 敷地内地元清掃のため工事中止とする。

※工事期間中施設開放を行うため、車両ルート、搬入について市監督員、学校と詳細協議を行い、安全対策に万全を期すること。

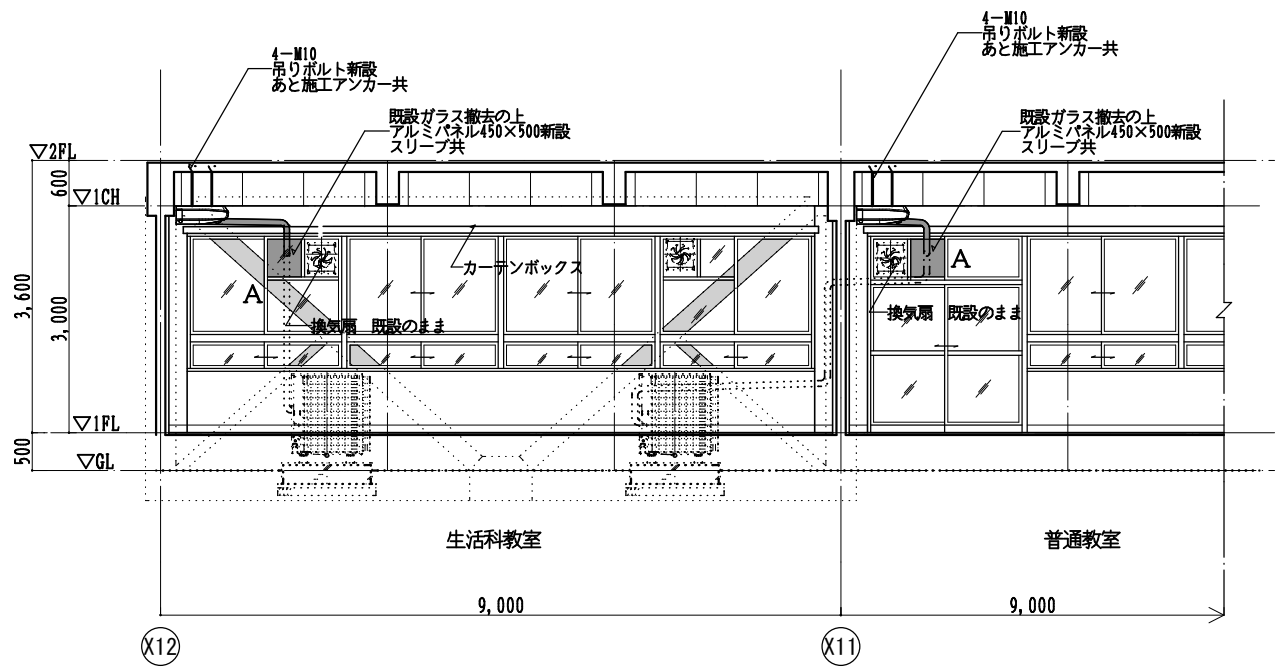
[illegible]

1階平面図 1:200

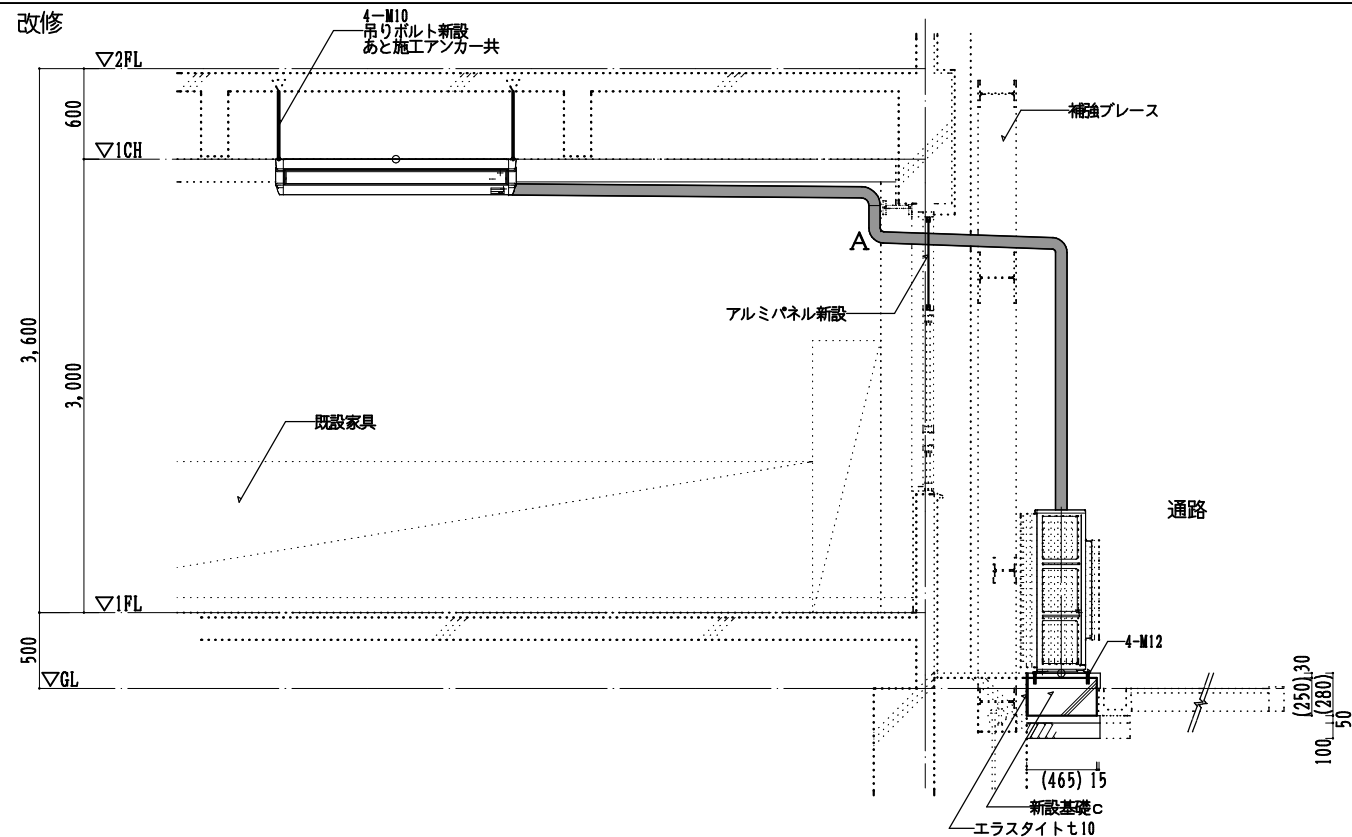
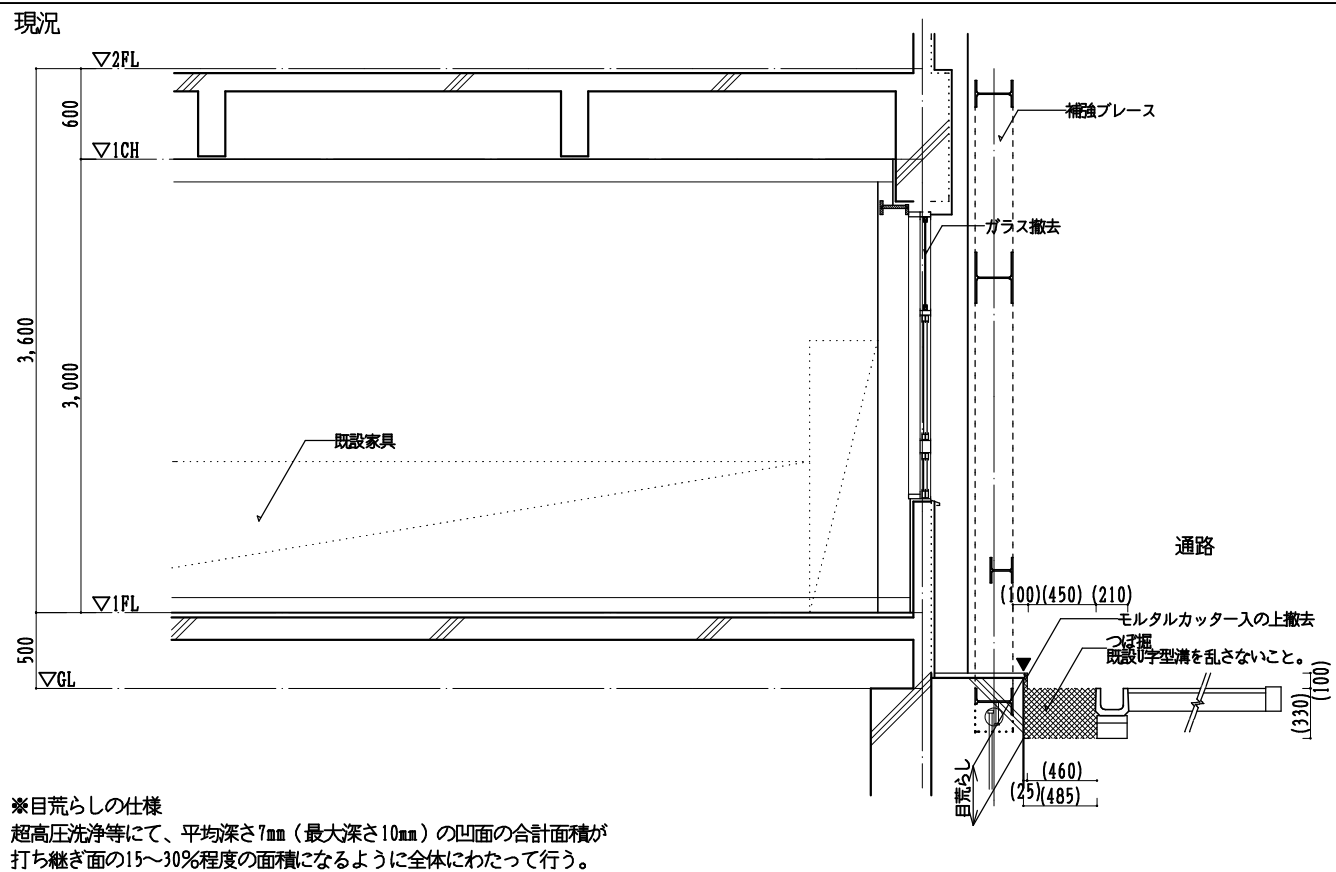




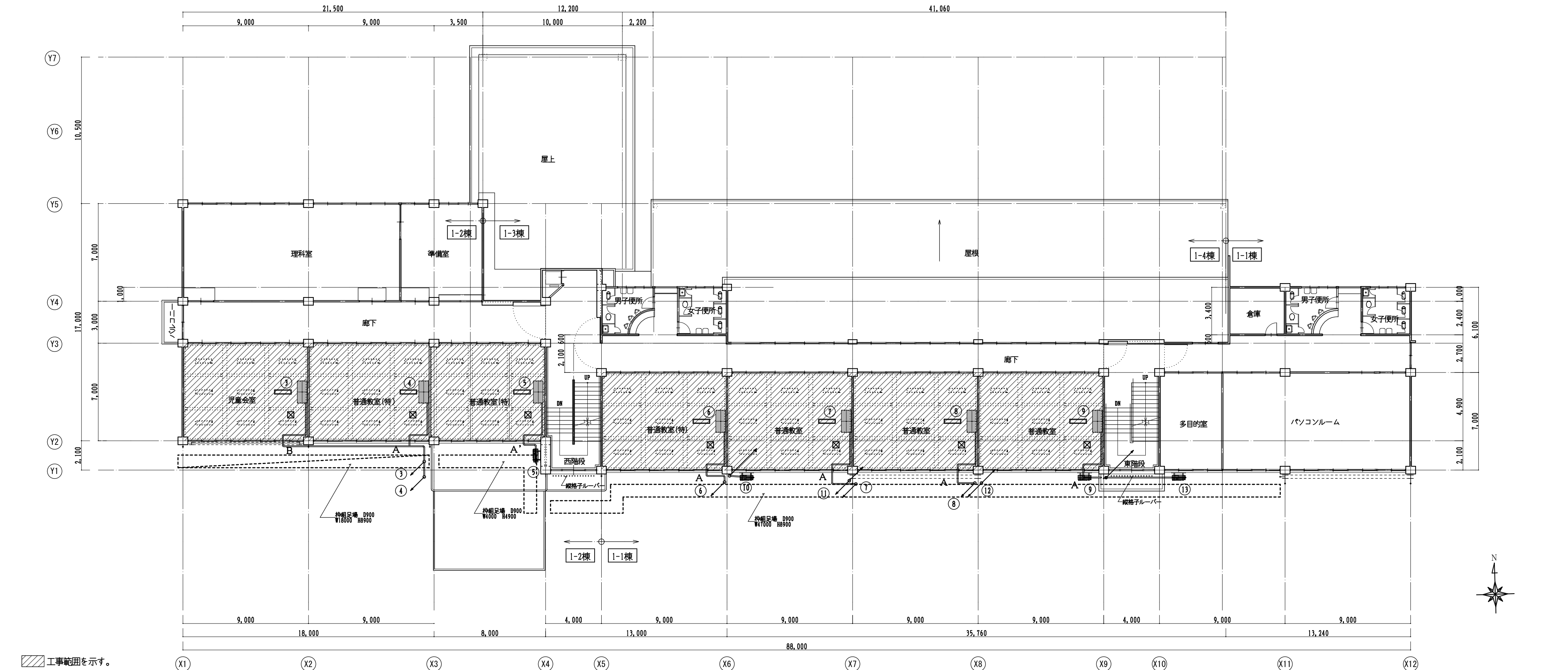
1階 生活科教室-普通教室 北面展開図 1:100



1階 生活科教室 ア断面図 1:50

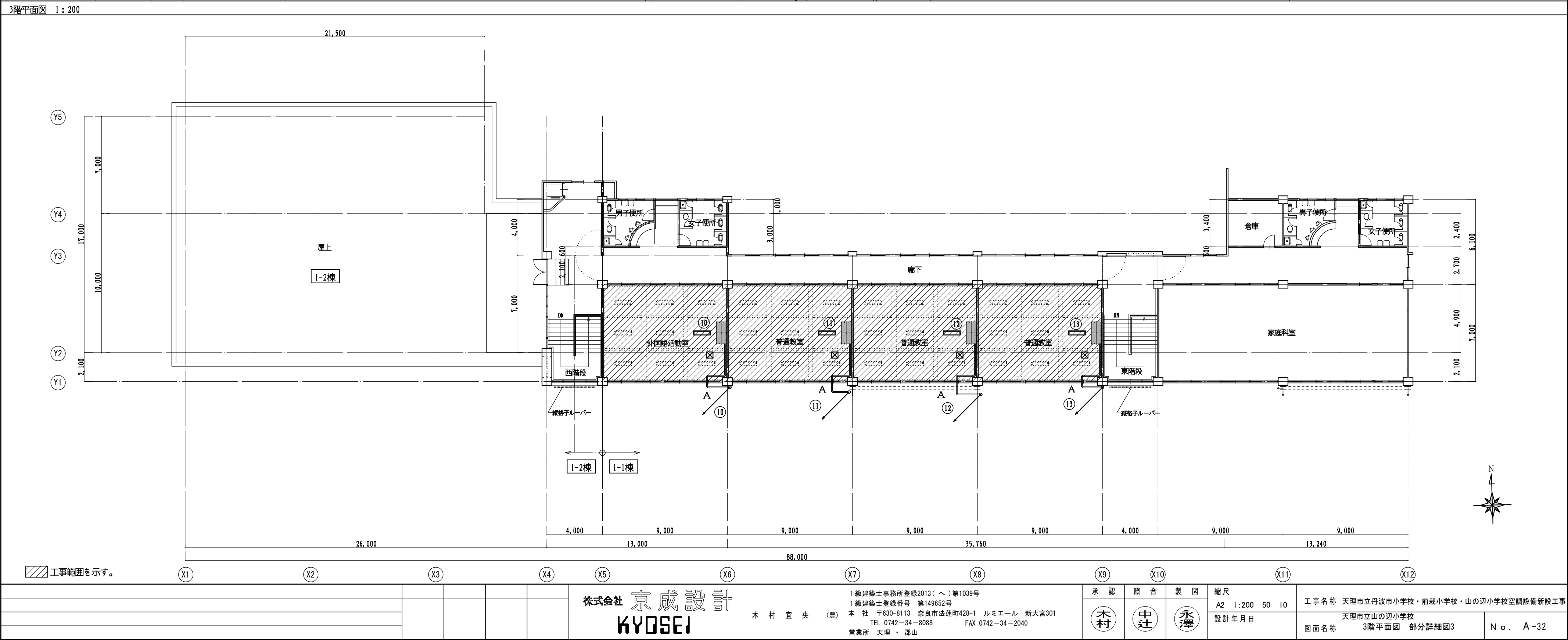
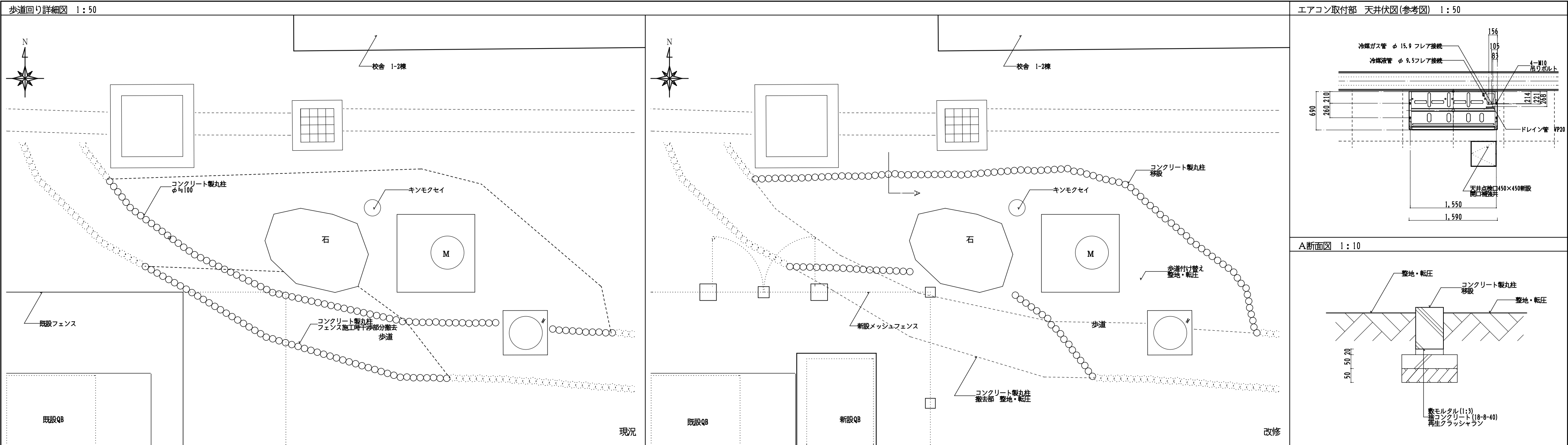


2階平面図 1:200



/// 工事範囲を示す。

株式会社 京成設計 KYOSEI				1級建築士事務所登録2013(へ)第1039号 1級建築士登録番号 第149652号 本社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山				承認 木村	照合 中辻	製図 永澤	縮尺 A2 1:200 100 50 設計年月日	工事名称 天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事 天理市立山の辺小学校	図面名称 2階平面図 部分詳細図2	N o . A-31
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	----------	----------	----------	--------------------------------	---	----------------------	------------



[illegible]

南立面図 1:100

▽PP天 550  
▽BSL 1,600  
▽2FL 3,600  
▽1FL 500  
▽GL

B. 250

1-2棟 1-1棟

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

A A' B

基礎a 基礎b

※ 部詳細図 1:30

現況

アンカーボルト撤去部  
シリング充填  
配管引き込み  
(機械設備工事)

現況

アングルプレート・  
アンカーボルト×2撤去  
アルミルーバー機械1本撤去  
ルーバー支持材共

The figure consists of two technical drawings, labeled '現況' (Current State) at the top and bottom.

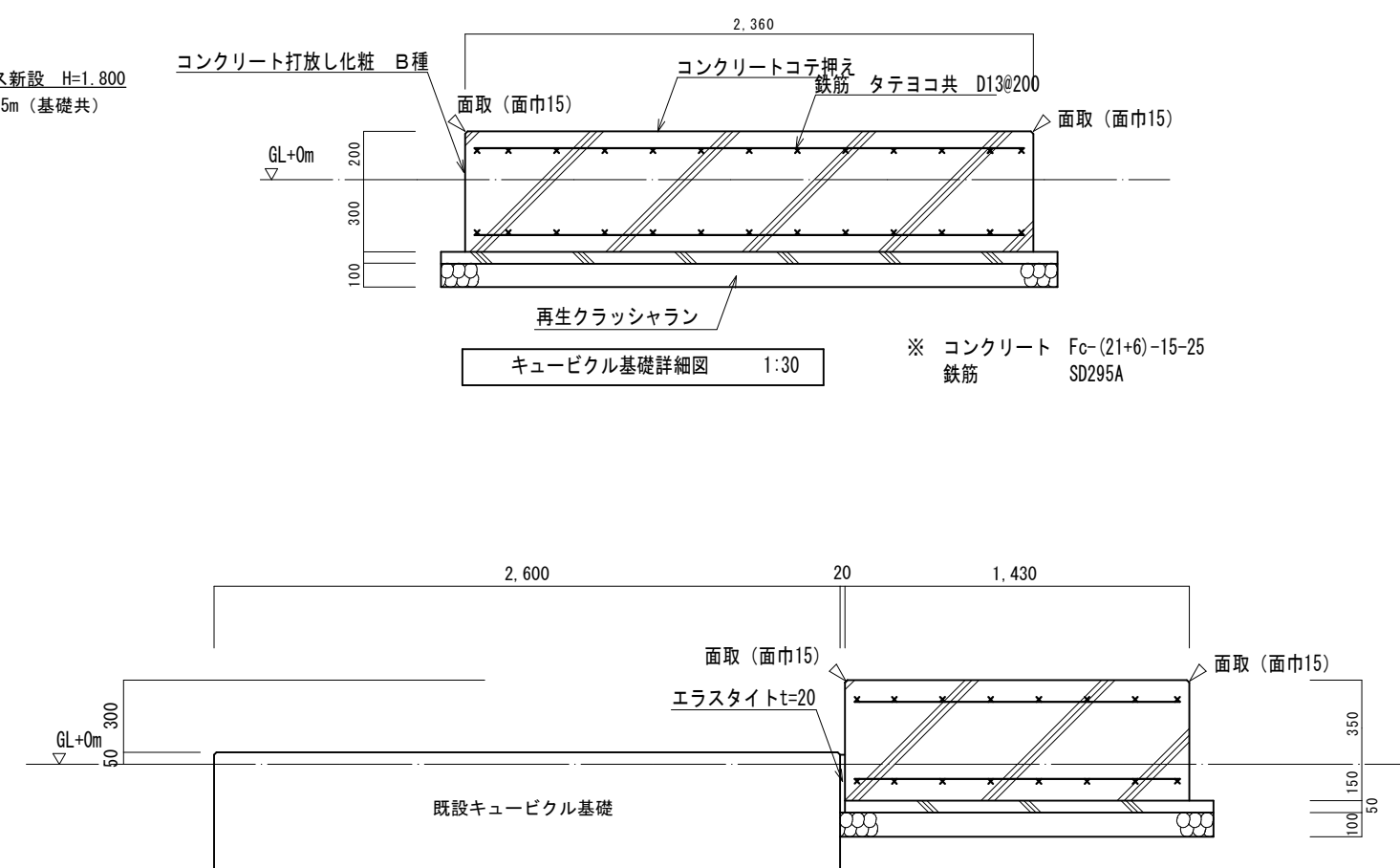
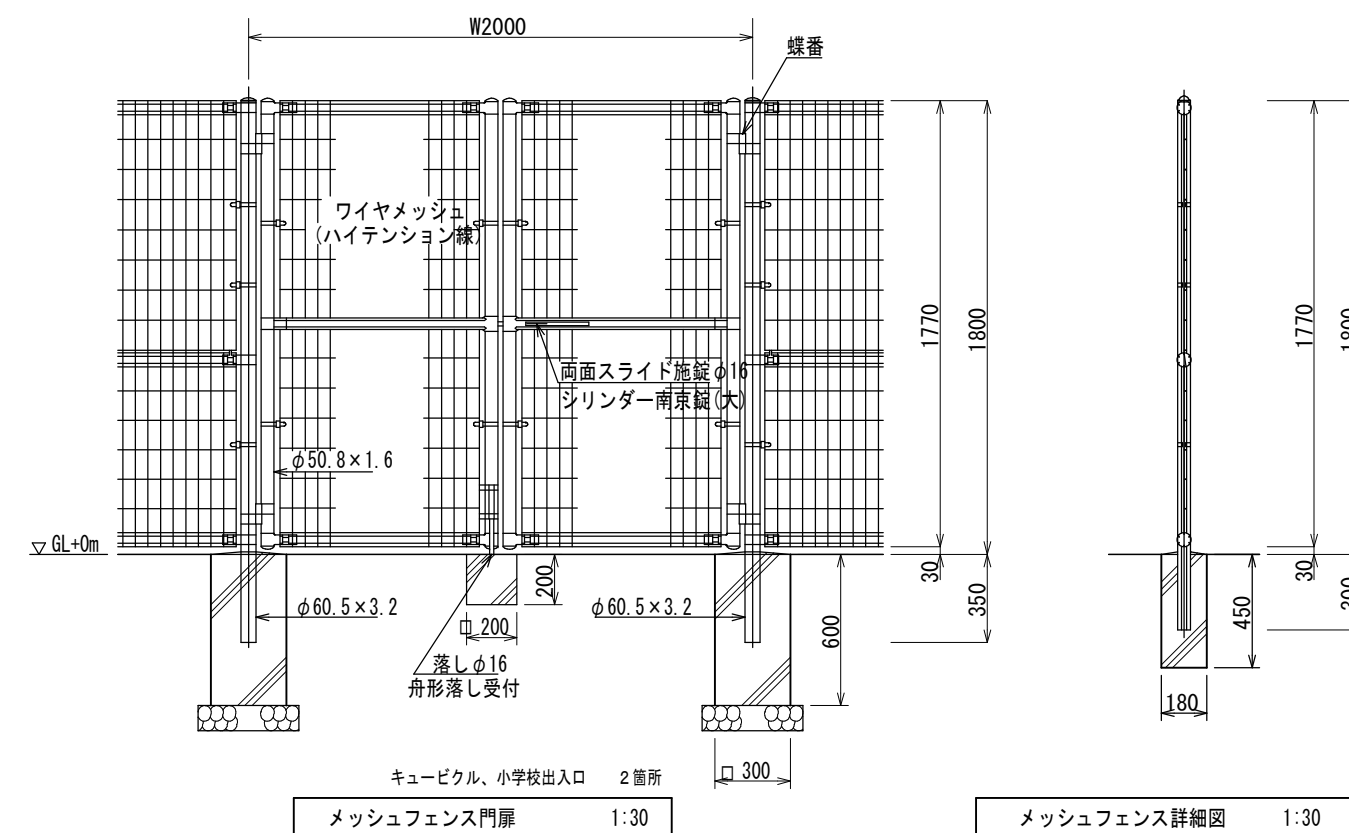
**Top Drawing:** A cross-section of a building's exterior wall and roof structure. It shows a vertical wall on the left and a horizontal roof structure on the right. A vertical line represents a structural element, possibly a beam or column. A horizontal line represents a roof edge. A curved arrow points to a section of the wall. Labels include:
 

- アンカーボルト撤去部 シンキング部 充填補修 (Anchor Bolt Removal Section, Sinking Section, Filling and Repair)
- 配管引き込み (配管設備工事) (Pipe Pull-in (Pipe Equipment Work))

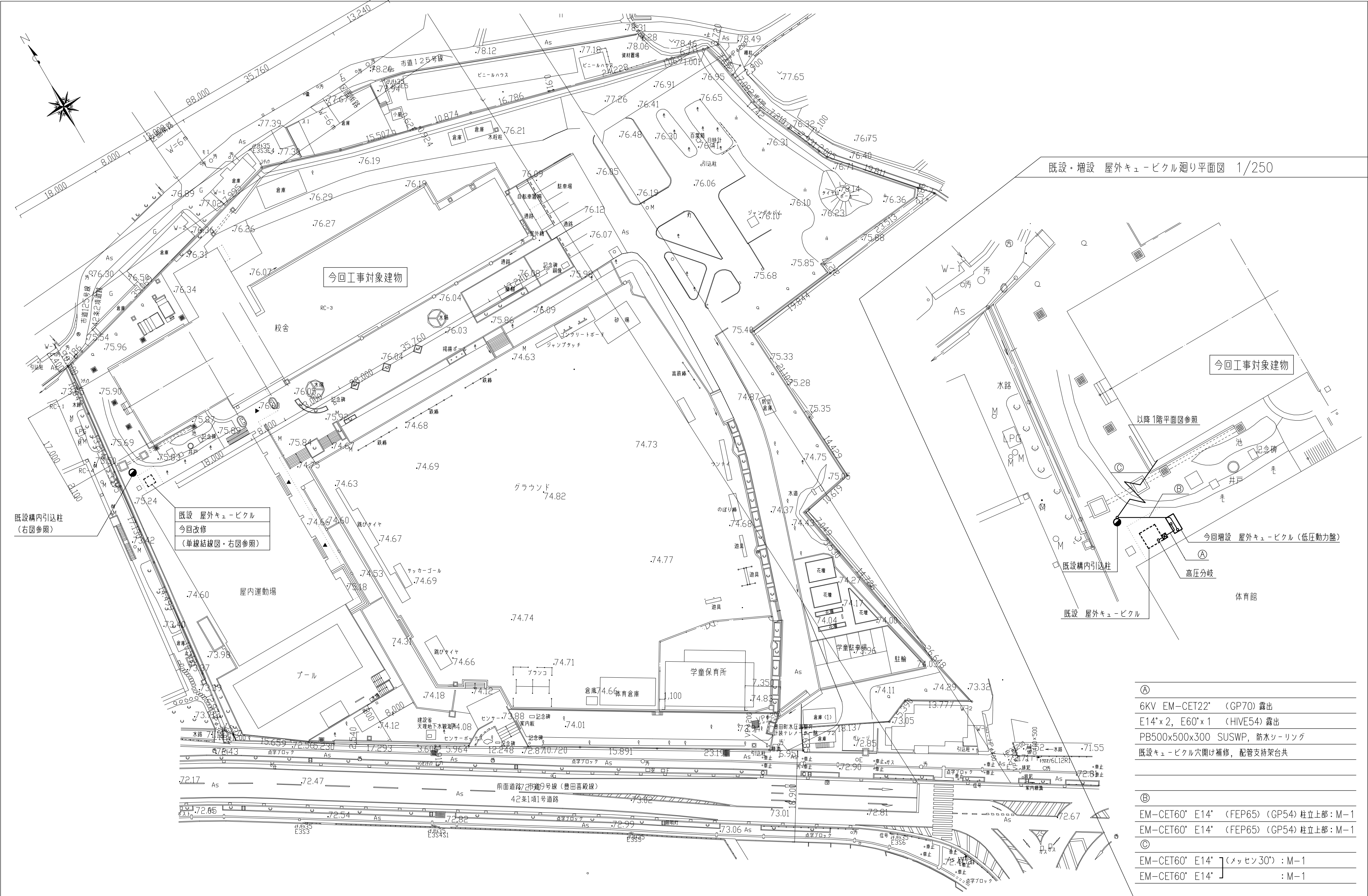
**Bottom Drawing:** A cross-section of a building's exterior wall and roof structure, showing a different section. It shows a vertical wall on the left and a horizontal roof structure on the right. A vertical line represents a structural element, possibly a beam or column. A horizontal line represents a roof edge. A curved arrow points to a section of the wall. Labels include:
 

- アングルプレート・アンカーボルト×2撤去 (Angle Plate, Anchor Bolt × 2 Removal)
- アルミルーバー横材1本撤去 ルーバー支持材共 (Aluminum Louver Horizontal Material 1 Piece Removal, Louver Support Material Common)

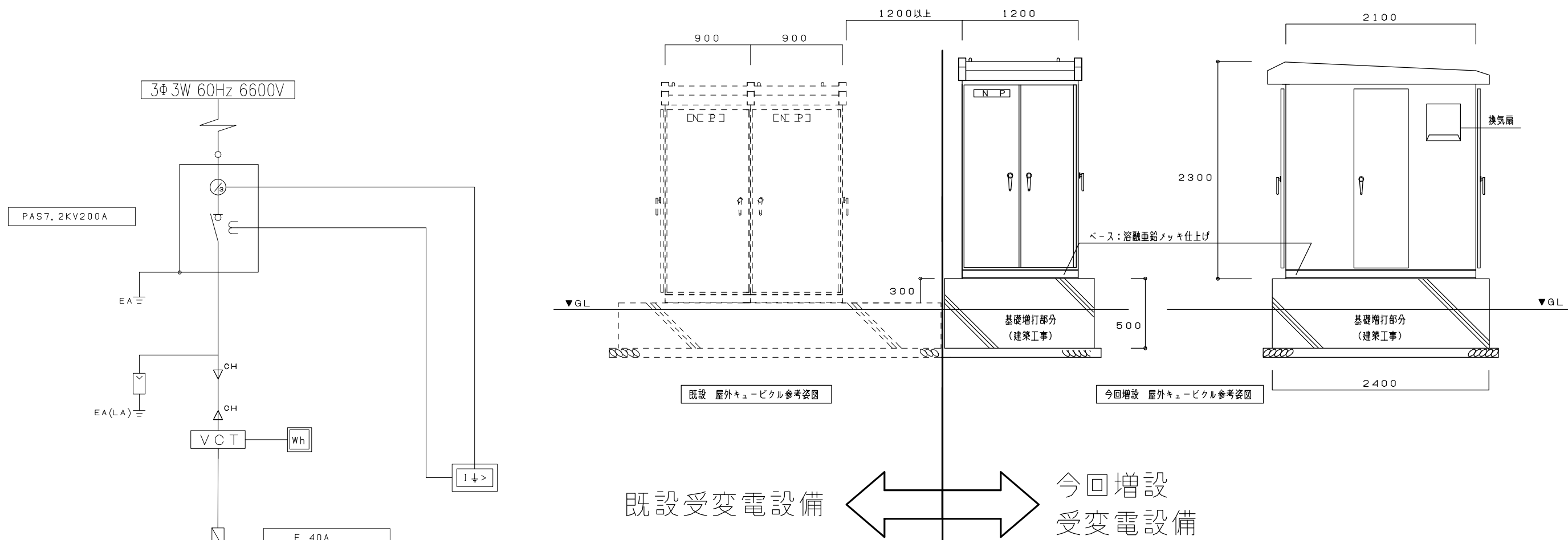
凡例						株式会社 京成設計 KYOSEI 木村 宜 央 (豊)	1級建築士事務所登録2013(へ)第1039号 1級建築士登録番号 第149652号 本 社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山	承認	照合	製図	縮尺	工 事 名 称 天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事	
①	電線管						木村	中辻	永澤	A2 1:100	設計年月日		
②	ブルボックス									天理市立山の辺小学校		図面名称 南立面図	No. A-33
④	堅樋												







- ①  
6KV EM-CET22" (GP70) 露出  
E14"×2, E60"×1 (HIVE54) 露出  
PB500×500×300 SUSWP, 防水ソーリング  
既設キュービクル穴開け補修, 配管支持架台共
- ②  
EM-CET60" E14" (FEP65) (GP54) 柱立上部:M-1  
EM-CET60" E14" (FEP65) (GP54) 柱立上部:M-1
- ③  
EM-CET60" E14" (メッセン30") :M-1  
EM-CET60" E14" :M-1



注記

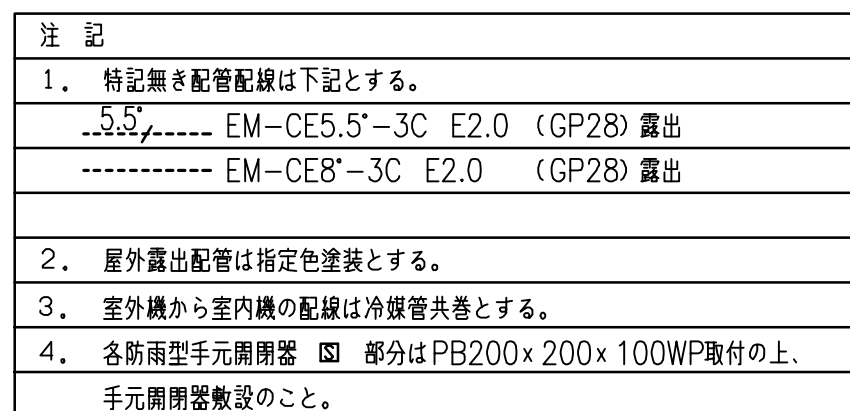
- 1 空調改修増設に伴い既設キュービクルより高圧分岐し  
3φ変圧器 低圧動力盤の増設を行うものとする。
- 2 図中薄線部分は既存を示し、濃線部分増設とする。  
既存の状況を充分確認の上、施工のこと。
- 3 遮断機名称板はアクリル製エッチングとする。
- 4 停電作業時は主任技術者立ち合いを行うこと。
- 5 機器更新に伴う試験調査（耐圧試験・連動試験）を実施のこと。
- 6 主任技術者の立会費用は含まない。  
（発注者より主任技術者へ支払いを行う。）




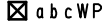



既設屋外キュービクル 受変電設備結線図

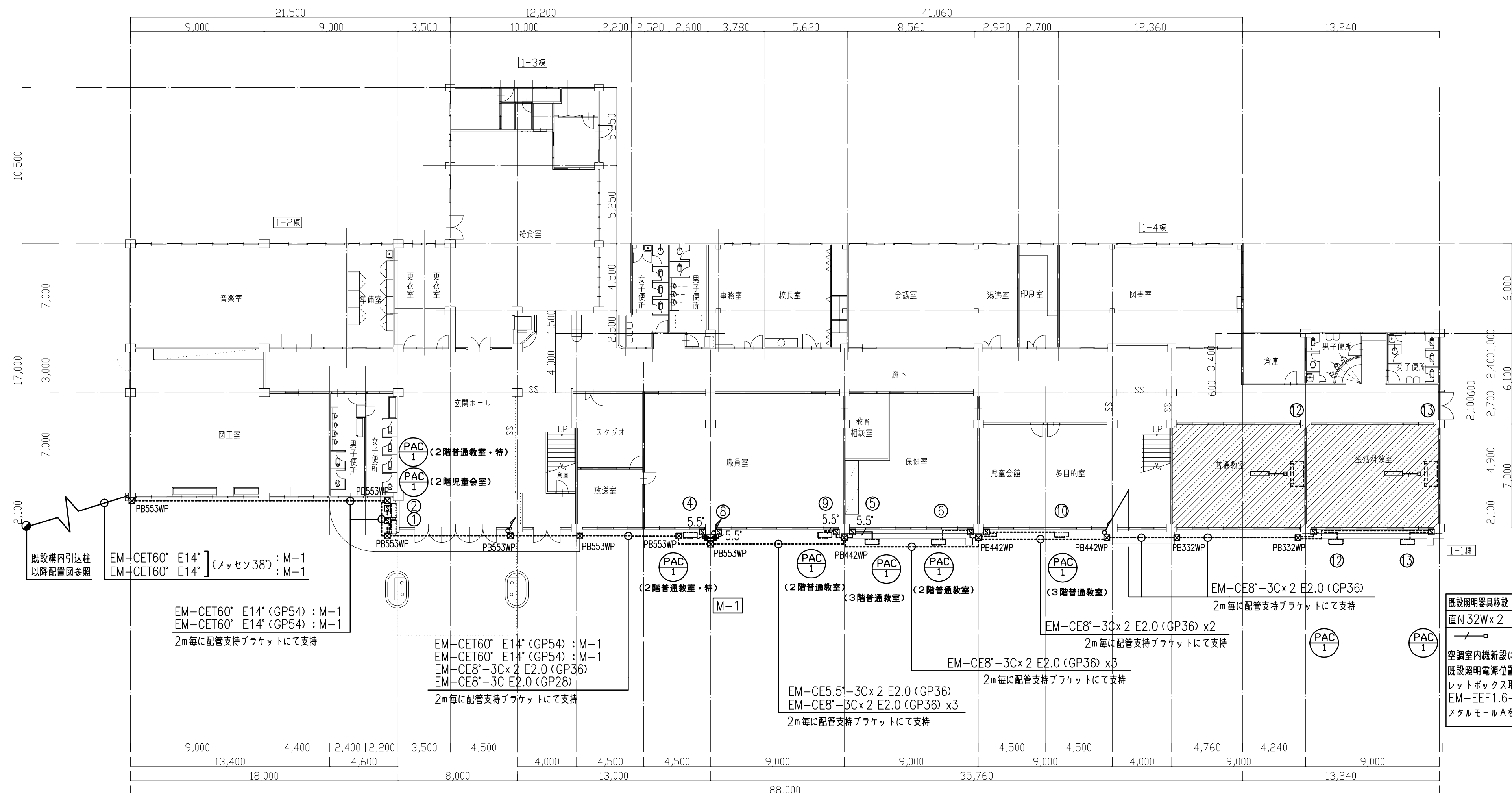
今回増設 屋外キュービクル 受変電設備結線図

幹線No	負荷名称	遮断器			ケーブルサイズ	負荷容量(kW)
		極数	種別	容量		
M1	M-1	3P	MCCB	225AF 175AT	CET60'	25.3
M2	M-1	3P	MCCB	225AF 175AT	CET60'	29.5
	LGR	2P	MCCB	50AF 20AT	-	-








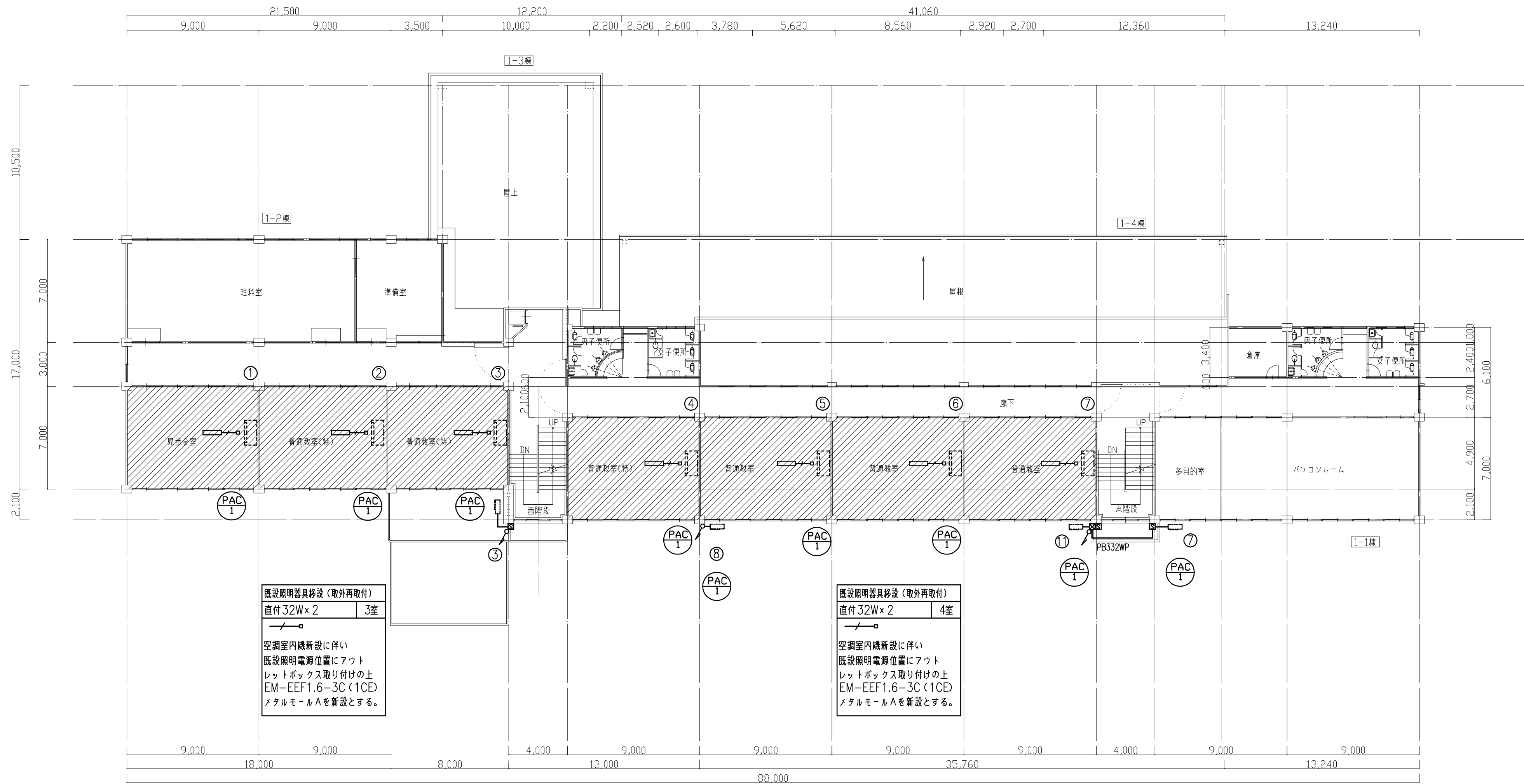
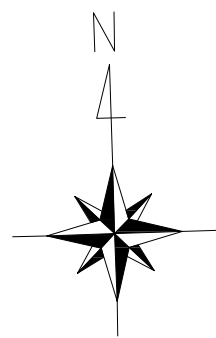
凡 例	
	動力機
	空調機（室外機）（機械設備工事）
	PB a 00 x b 00 x c 00
	PB a 00 x b 00 x c 00 SUSWP
	防雨型手元開閉器 ELCB3P 50AF30AT
	照明器具（取外再取付）
	感知器（取外再取付）



 今回工事範囲を示す。

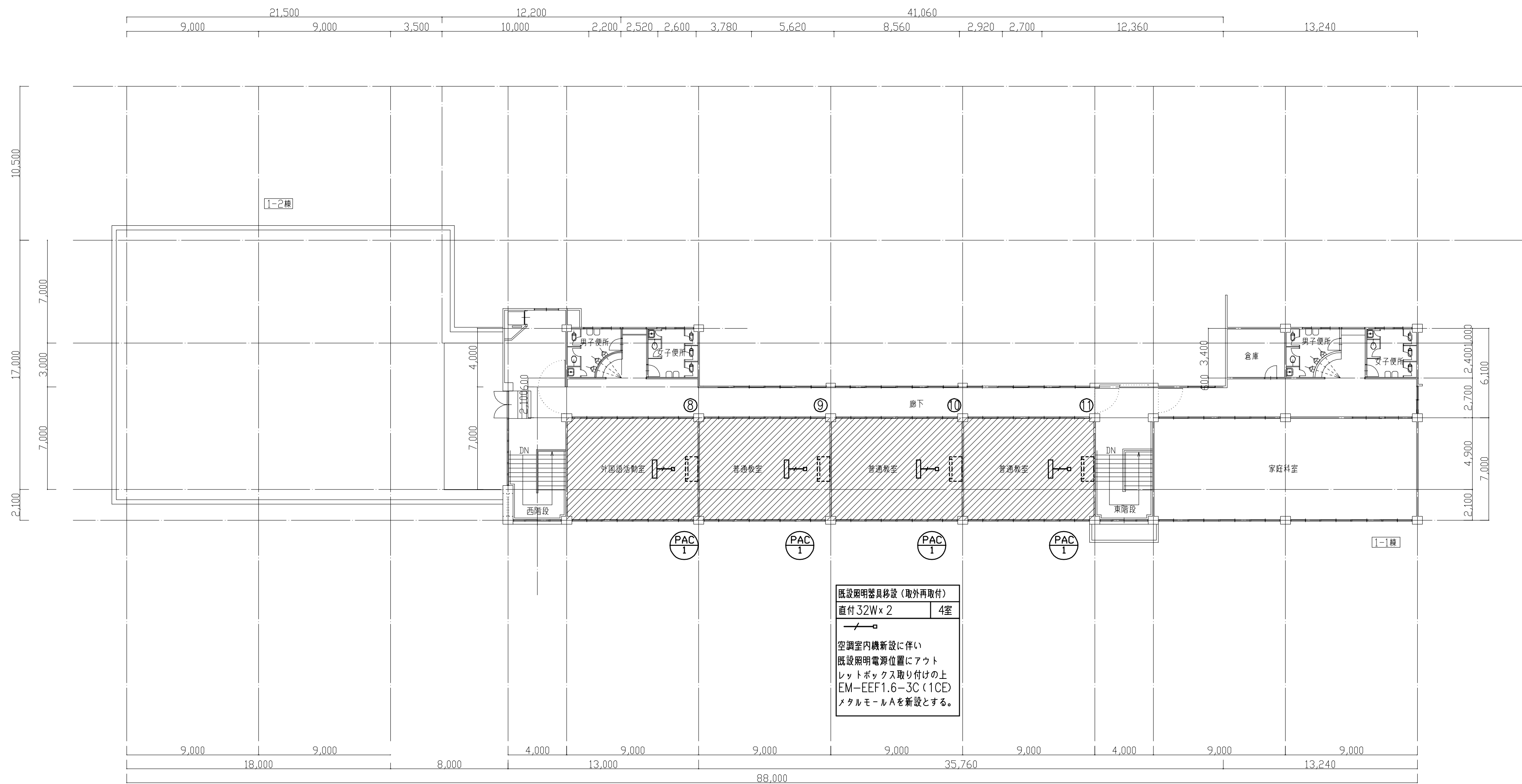
				株式会社 京成設計 KYOSEI 木村宜央 (豊) 本社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山	承認	照合	製図	縮尺	工事名称	
					  	A2 1:200	天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事			
							設計年月日	図面名称		
								山の辺小学校 1階平面図		
								No. E-24		






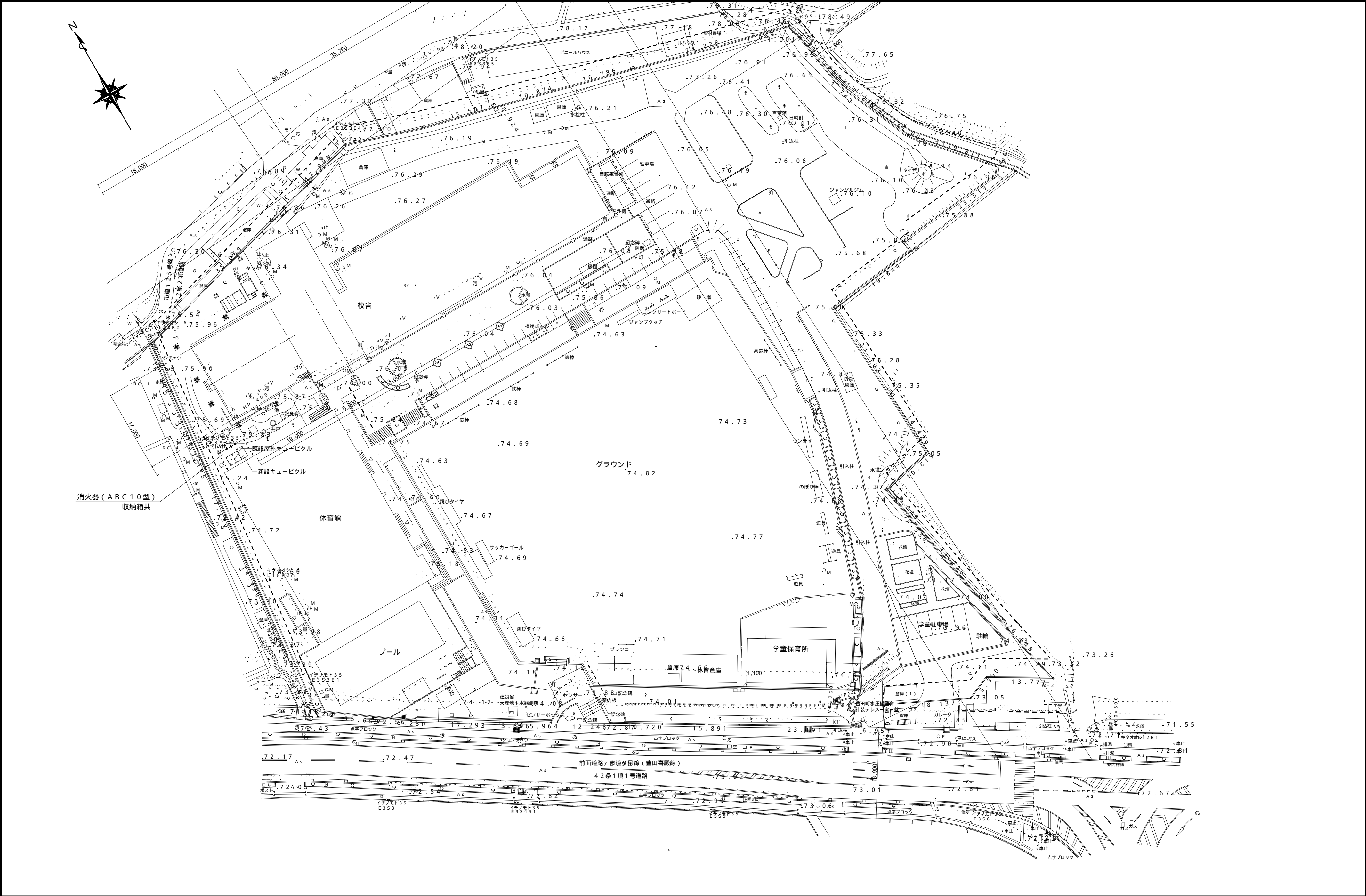


今回工事範囲を示す。

					株式会社 京成設計 KYOSEI 木村 宜央 (監)	1級建築士事務所登録2013(へ)第1039号 1級建築士登録番号 第149652号 本 社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山	承認	照合	製図	縮尺 A2 1:200	工事名称 天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事		
								（木寸）	（中辻）	（中裏子）	設計年月日	図面名称 山の辺小学校 2階平面図	No. E-25



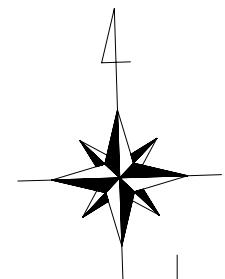
					<b>株式会社 京成設計</b> <b>KYDSEI</b> 木村宜央（豊） 本社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山	承認	照合	製図	縮尺 A2 1:200	工事名称 天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事
						  	設計年月日	図面名称 山の辺小学校 3階平面図	No. E-26	



				株式会社 京成設計		1級建築士事務所登録2013(へ)第1039号 1級建築士登録番号 第149652号 本社 〒630-8113 奈良市法蓮町428-1 ルミエール 新大宮301 TEL 0742-34-8088 FAX 0742-34-2040 営業所 天理・郡山	承認	照合	製図	縮尺 A2 1:500	工事名称 天理市立丹波市小学校・前栽小学校・山の辺小学校空調設備新設工事
				木村 宜央 (豊)			木村	中辻	林田	設計年月日	図面名称 山の辺小学校 配置図
				KYOSEI							No. M - 16





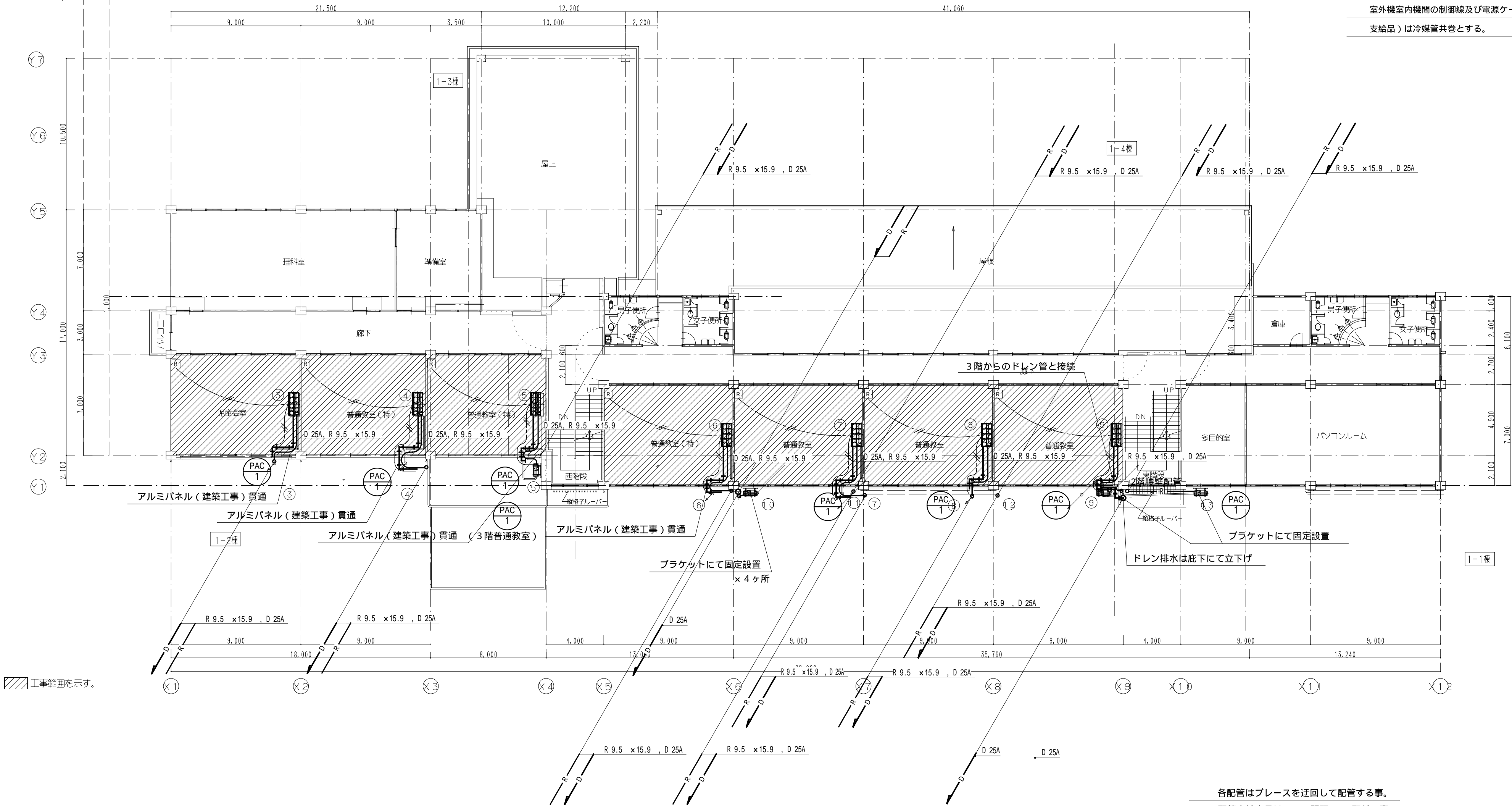


凡 例	
	断熱材被服銅管（冷媒用）（図中左から液管、ガス管）
	硬質ポリ塩化ビニル管（V P）
	リモコン配線、EM-CEE1.25sq-2C（MM-A）
	ワイヤードリモコン

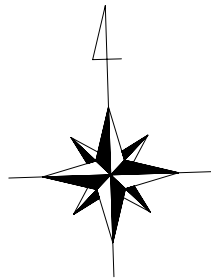
天井内ケーブルはコロガシ配管とする。

壁立下げ部は金属モールにて保護のこと。

室外機室内機間の制御線及び電源ケーブル（電気設備  
支給品）は冷媒管共巻とする。



工事範囲を示す。



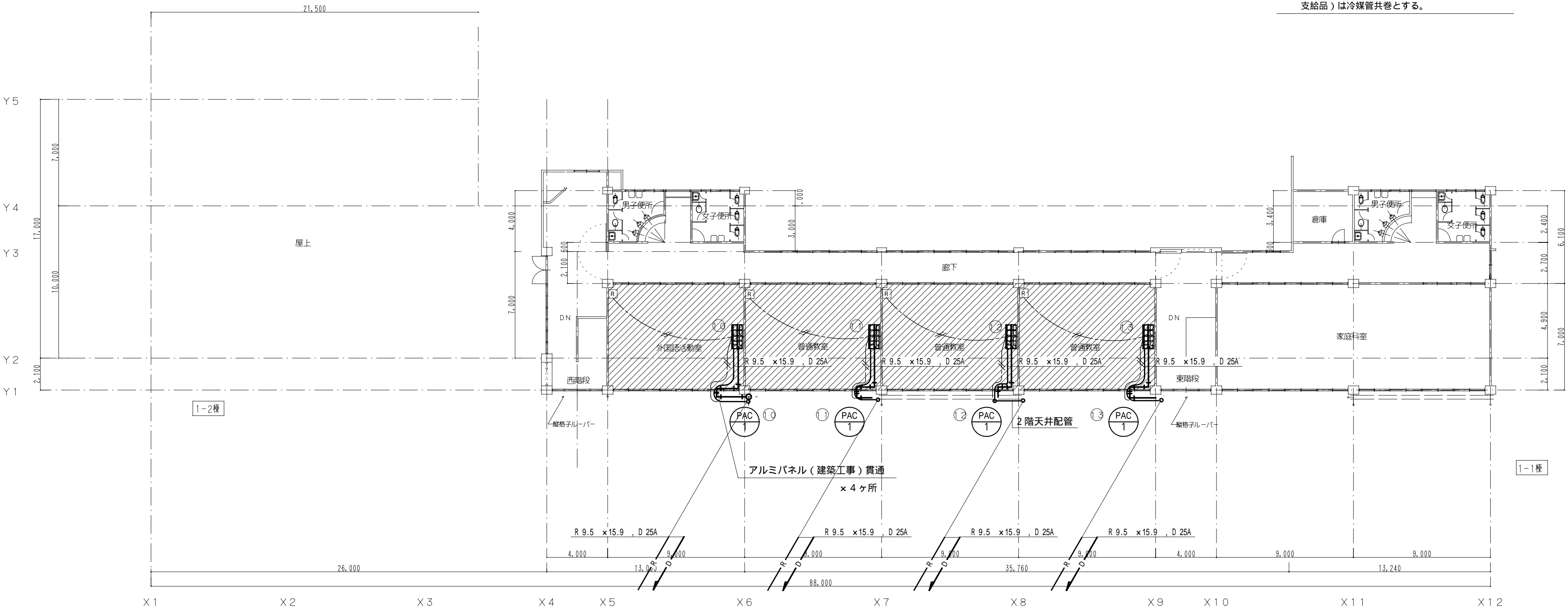
凡 例	
R	断熱材被服銅管（冷媒用）（図中左から液管、ガス管）
D	硬質ポリ塩化ビニール管（V P）
---//---	リモコン配線、EM-C EE1.25sq-2C（MM-A）
R	ワイヤードリモコン

天井内ケーブルはコロガシ配管とする。

壁立下げ部は金属モールにて保護のこと。

室外機室内機間の制御線及び電源ケーブル（電気設備

支給品）は冷媒管共巻とする。



工事範囲を示す。

各配管はブレースを迂回して配管する事。

配管支持金具は 1,500間隔 にて取付の事。